

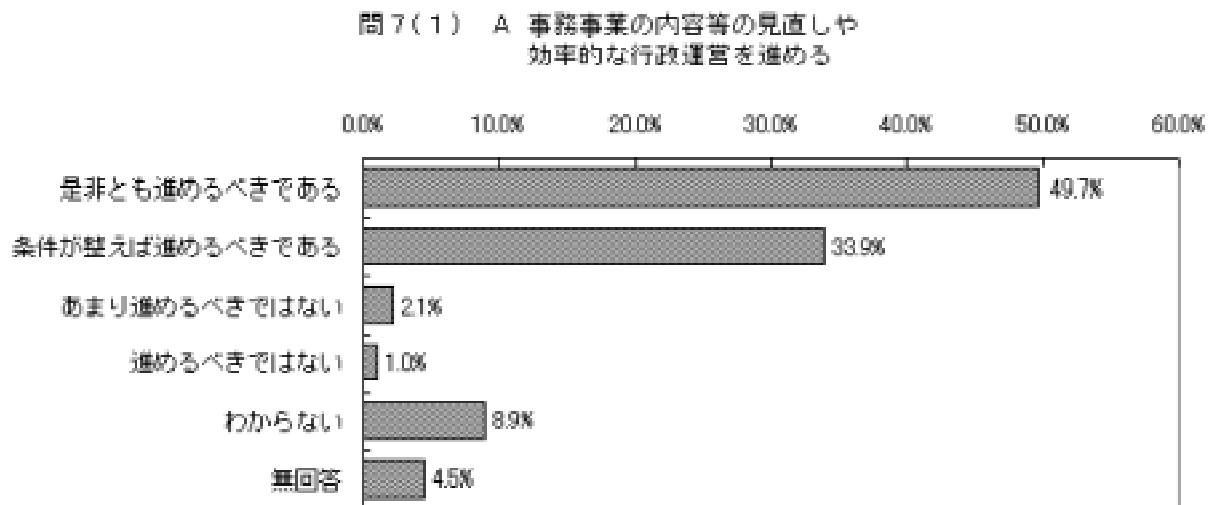
■行政改革と市町村合併について

問 7 現在、市町村は厳しい財政状況にあるといわれています。

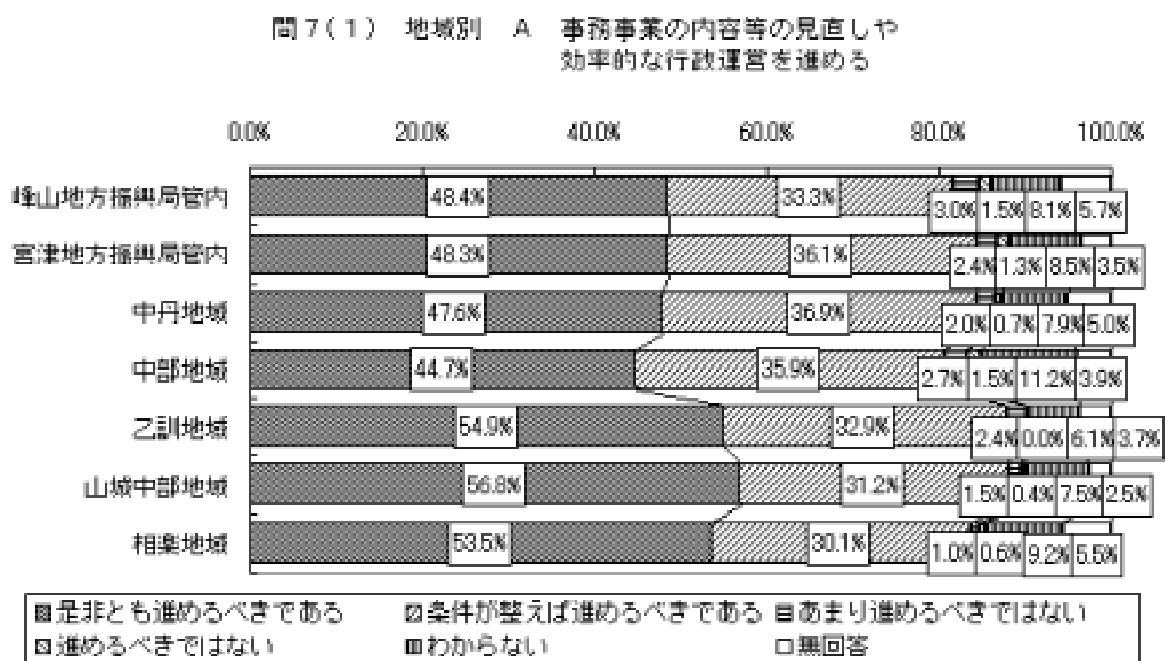
(1) あなたは、市町村の財政状況の改善のためには、以下の A～E の項目について、どのような対応をとるべきだと思いますか。各項目ごとにあてはまるものを 1 つだけ選び、番号に○をつけてください。

A. 事務事業の内容や実施方法を見直し、効率的な行政運営を進める

事務事業の内容や実施方法を見直し、効率的な行政運営を進めるべきかどうかをたずねたところ、「是非とも進めるべきである」(49.7%)と「条件が整えば進めるべきである」(33.9%)をあわせた「進めるべき」が83.6%を占めており、「あまり進めるべきではない」(2.1%)と「進めるべきではない」(1.0%)をあわせた「進めるべきではない」(3.1%)を圧倒的に上回っている。

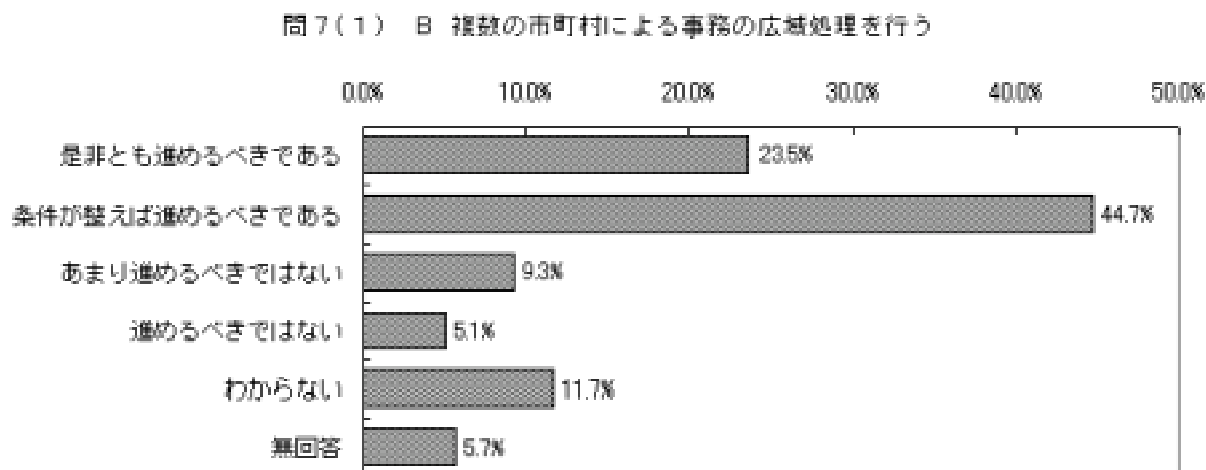


地域別にみると、いずれの地域においても「進めるべき」が80％以上を占めており、「進めるべきではない」を圧倒的に上回っている。

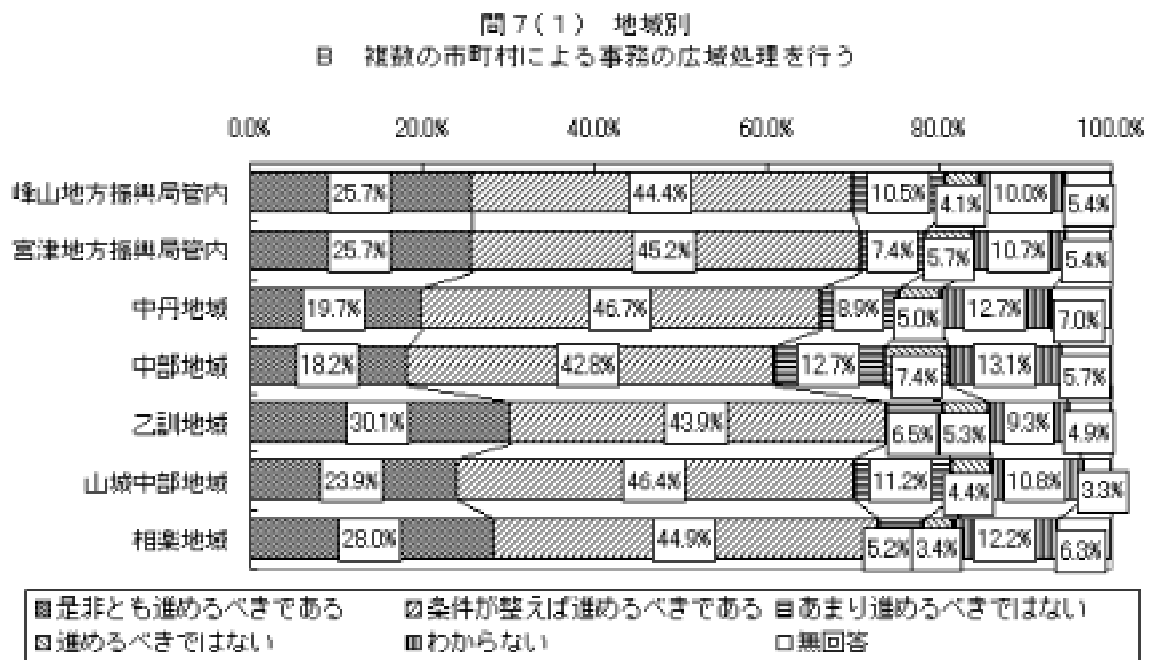


B. 複数の市町村で連携して事務の広域処理を行う

複数の市町村で連携して事務の広域処理を行うべきかどうかをたずねたところ、「条件が整えば進めるべきである」（44.7％）と「是非とも進めるべきである」（23.5％）をあわせた「進めるべきである」が68.2％を占めており、「あまり進めるべきではない」（9.3％）「進めるべきではない」（5.1％）をあわせた「進めるべきではない」（14.4％）を大きく上回っている。

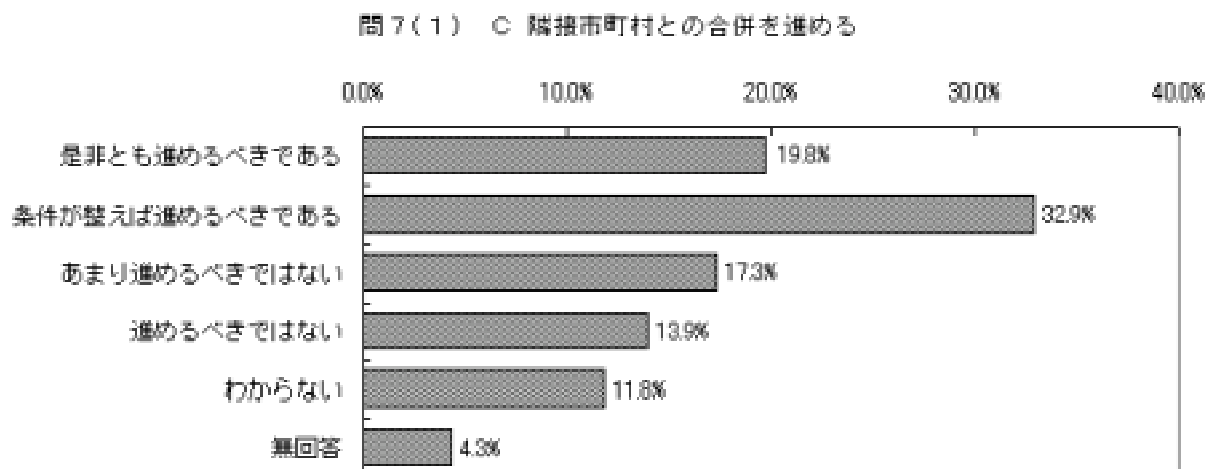


地域別にみると、「進めるべき」が「中丹地域」「中部地域」では60%台であるほかは70%を超えており、「進めるべきではない」を大きく上回っている。

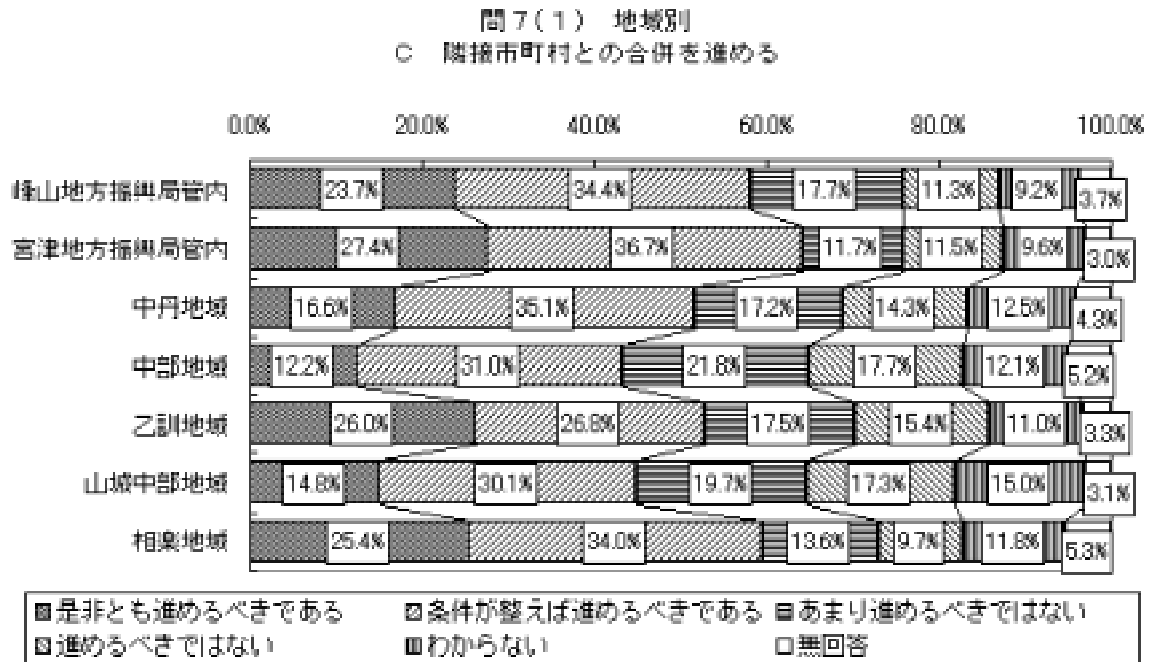


C. 隣接市町村との合併を進める

隣接市町村との合併を進めるべきかどうかをたずねたところ、「条件が整えば進めるべきである」(32.9%)と「是非とも進めるべきである」(19.8%)をあわせた「進めるべき」が52.7%を占めており、「あまり進めるべきではない」(17.3%)と「進めるべきではない」(13.9%)をあわせた「進めるべきではない」(31.2%)を上回っている。

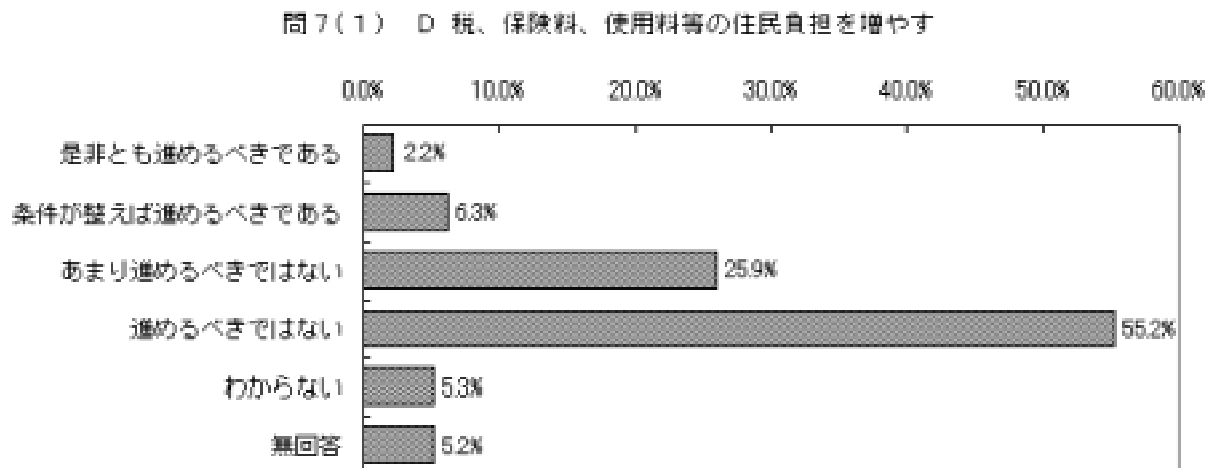


地域別にみると、「進めるべき」が「峰山・宮津地方振興局管内」「中丹地域」「乙訓地域」「相楽地域」では50%を超えているのに対し、「中部地域」「山城中部地域」では40%台であり、他の地域に比べてやや低い。

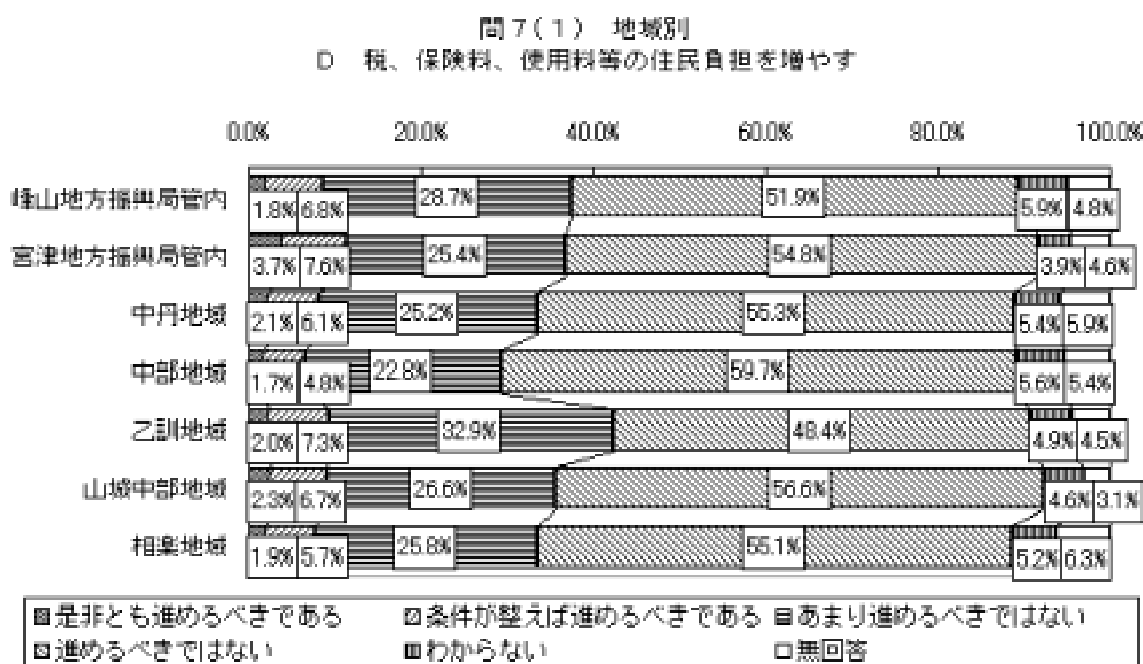


D. 税、保険料、使用料等の住民負担を増やす

税、保険料、使用料等の住民負担を増やすべきかどうかをたずねたところ、「進めるべきではない」(55.2%)と「あまり進めるべきではない」(25.9%)をあわせた「進めるべきではない」が81.1%を占めており、「条件が整えば進めるべきである」(6.3%)と「進めるべきである」(2.2%)をあわせた「進めるべき」(8.5%)を圧倒的に上回っている。

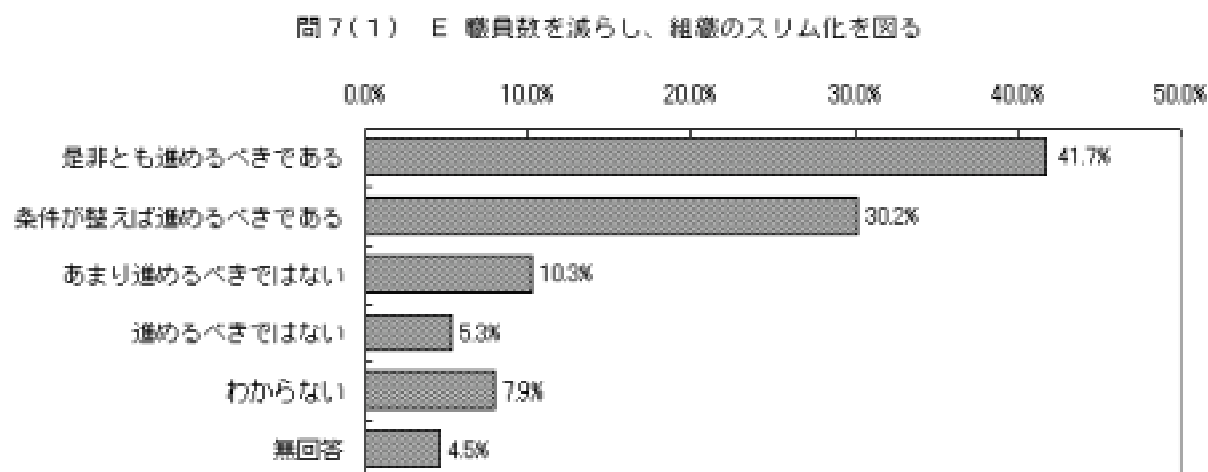


地域別にみると、いずれの地域においても「進めるべきではない」が80%以上を占めており、「進めるべきである」を圧倒的に上回っている。

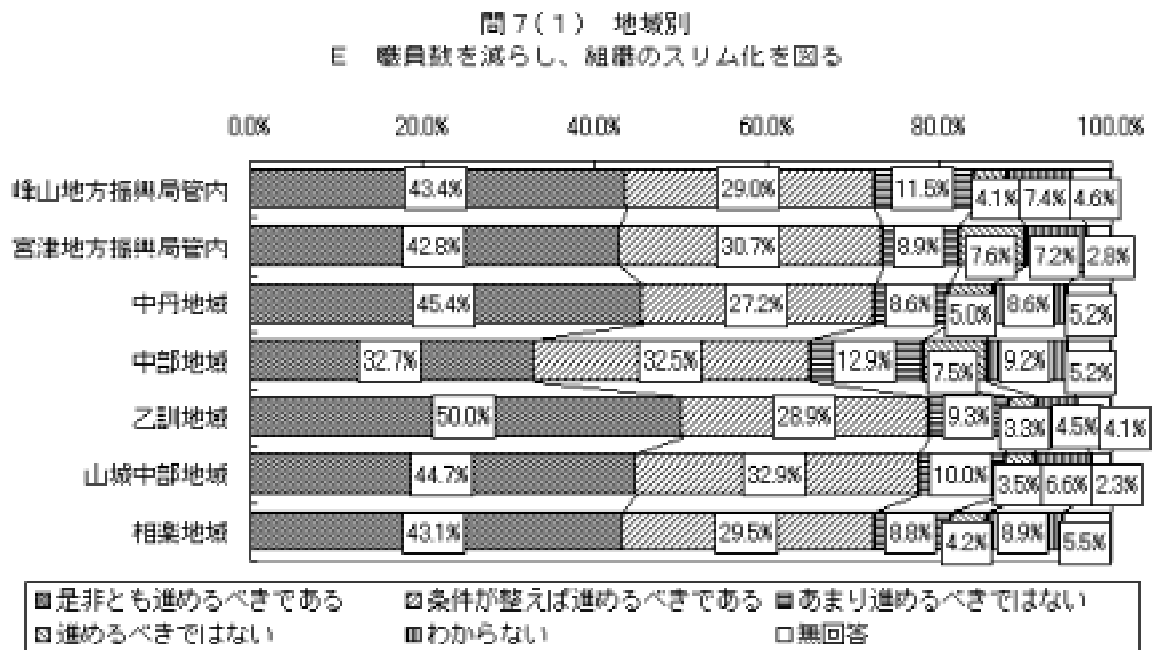


E. 職員数を減らし、組織のスリム化を図る

職員数を減らし、組織のスリム化を図るべきかどうかをたずねたところ、「是非とも進めるべきである」(41.7%)と「条件が整えば進めるべきである」(30.2%)をあわせた「推進すべきである」が71.9%を占めており、「あまり進めるべきではない」(10.3%)と「進めるべきではない」(5.3%)をあわせた「進めるべきではない」(15.6%)を大きく上回っている。

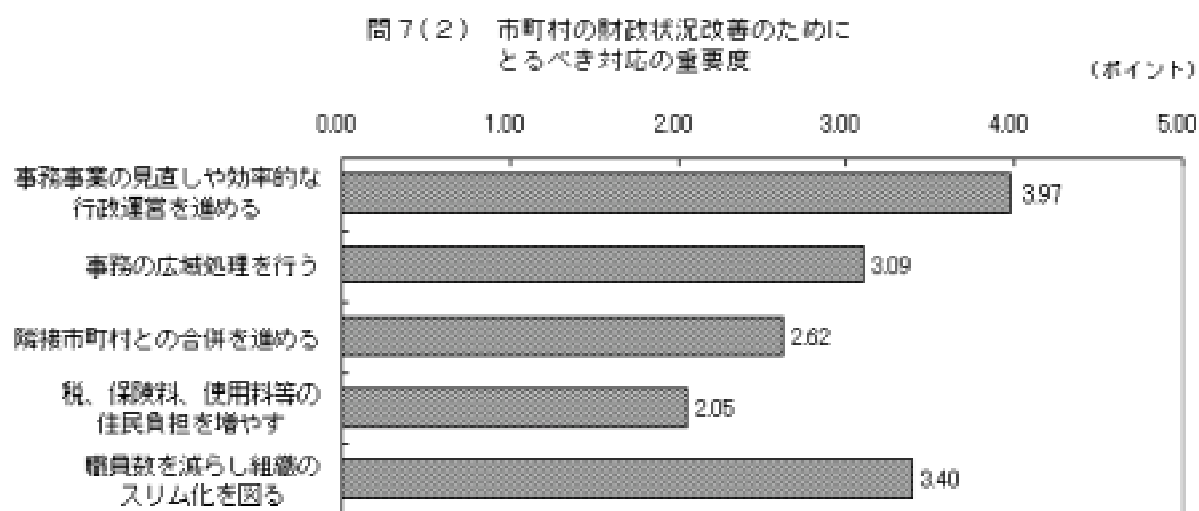


地域別にみると、「進めるべき」が「中部地域」では60%台と他の地域に比べてやや割合が小さいのに対し、「乙訓地域」「山城中部地域」では他の地域に比べてやや割合が大きい。

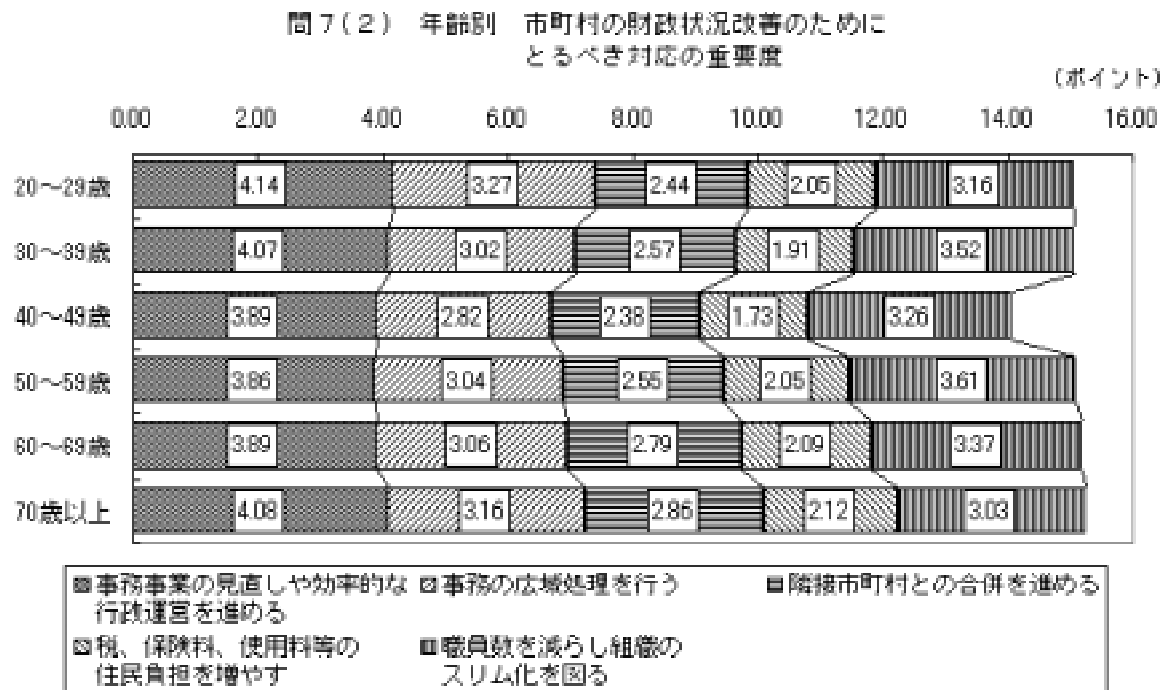


(2) 「問7(1)」のA～Eの5つの項目について、あなたが取組の重要度が高いと思う順に、アルファベットを回答欄にご記入ください。

5つの取組の重要度を最も高いものから順に5点、4点、3点、2点、1点と得点を付与して加重平均値を求めたところ、「事務事業の見直しや効率的な行政運営を進める」(3.97)が最も高く、次いで「職員数を減らし組織のスリム化を図る」(3.40)、「事務の広域処理を行う」(3.09)の順となっている。

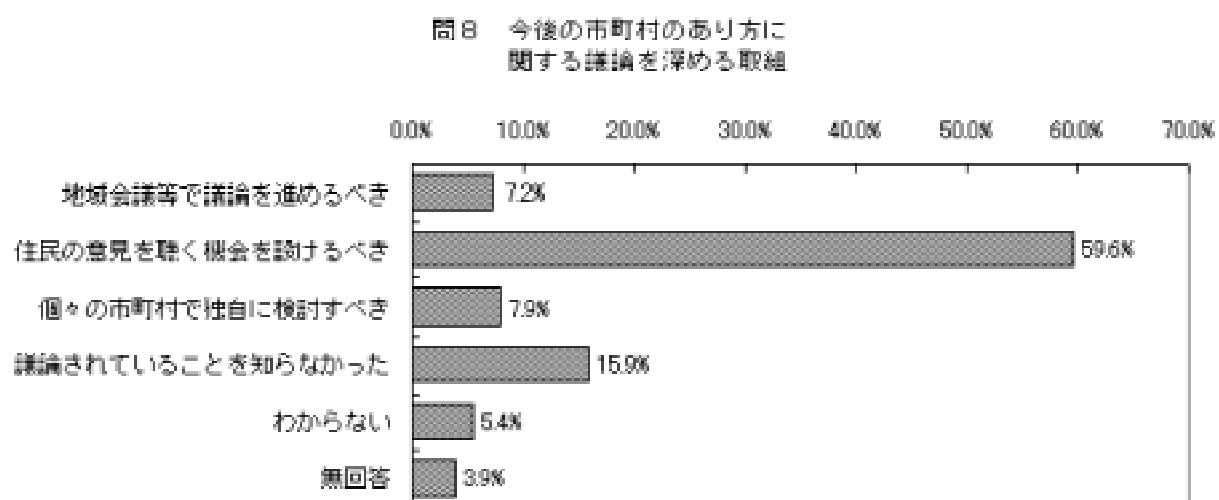


年齢別にみると、1位はいずれの年代も「事務事業の見直しや効率的な行政運営を進める」であるが、2位は「20～29歳」「70歳以上」では「事務の広域処理を行う」、「30～39歳」～「60～69歳」では「職員数を減らし組織のスリム化を図る」となっている。

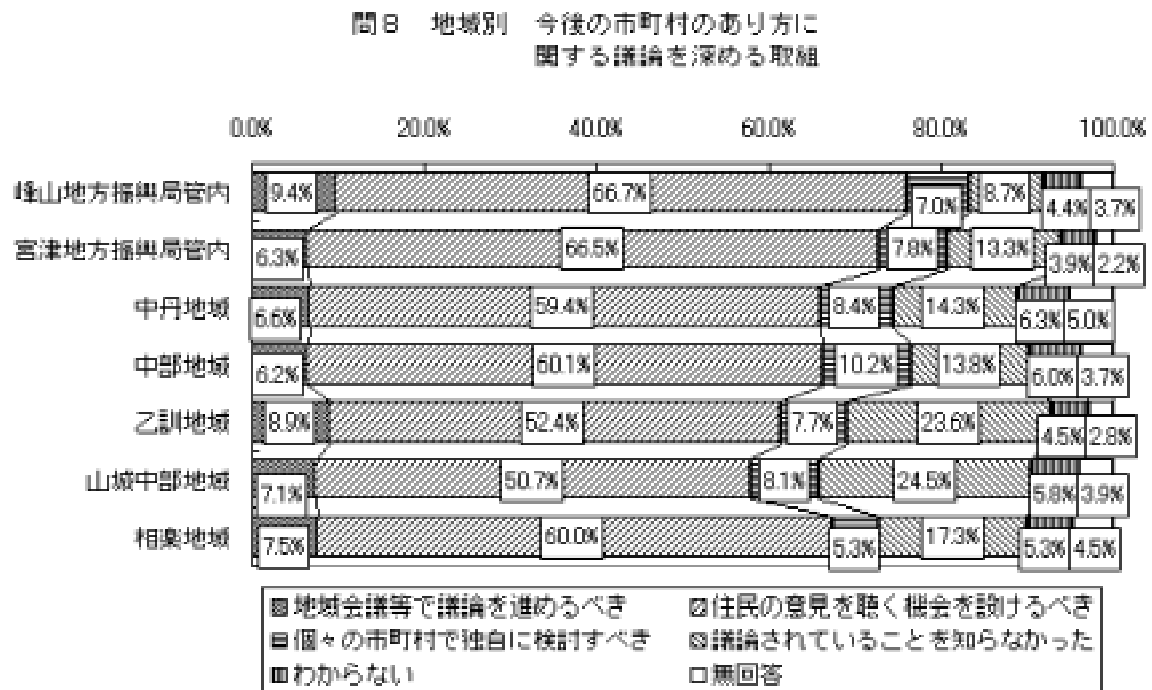


問 8 現在、府内の 4 地域において、行政改革推進地域会議が設置されるなど、市町村が共同で、行政改革や市町村合併など今後の市町村行財政のあり方に関する議論を深める取組が進められています。このことについて、あなたはどのように思いますか。あてはまるものを 1 つだけ選び、番号に○をつけてください。

市町村の行財政のあり方に関する議論を深める取組についてたずねたところ、「住民の意見を聴く機会を設けるべき」（59.6％）が最も多い一方で、「議論されていることを知らなかった」も15.9％を占めている。

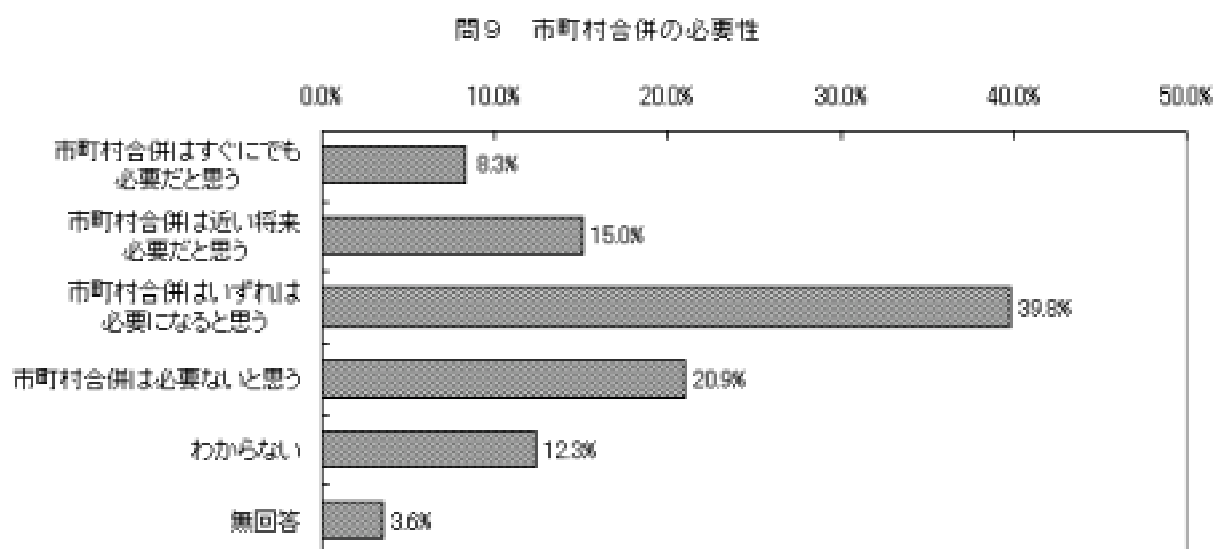


地域別にみると、「住民の意見を聴く機会を設けるべき」が「峰山・宮津地方振興局管内」では他の地域に比べて比率が高い。一方、「議論されていることを知らなかった」が、「乙訓地域」「山城中部地域」では20%を超えており、他の地域に比べて比率がやや高い。



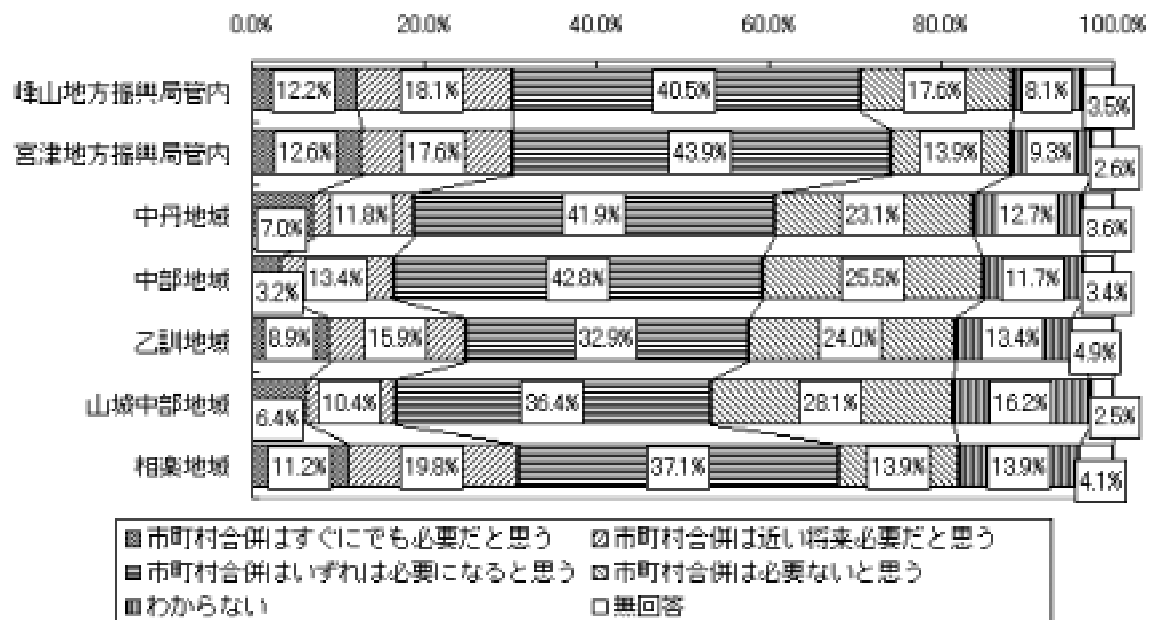
問9 ここ数年、「市町村の自主的な地域づくりのためには、その行財政基盤を強化することが必要不可欠であり、市町村合併が必要ではないか」という議論が行われています。このことについて、あなたは、現在お住まいの市町村において、合併を進める必要があると思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

現在住んでいる市町村の合併の必要性についてたずねたところ、「市町村合併はいずれは必要になると思う」（39.8％）が最も多く、これに「市町村合併は近い将来必要だと思う」（15.0％）、「市町村合併はすぐにでも必要だと思う」（8.3％）をあわせた「市町村合併は必要だと思う」が63.1％を占めており、「市町村合併は必要ないと思う」（20.9％）を大きく上回っている。



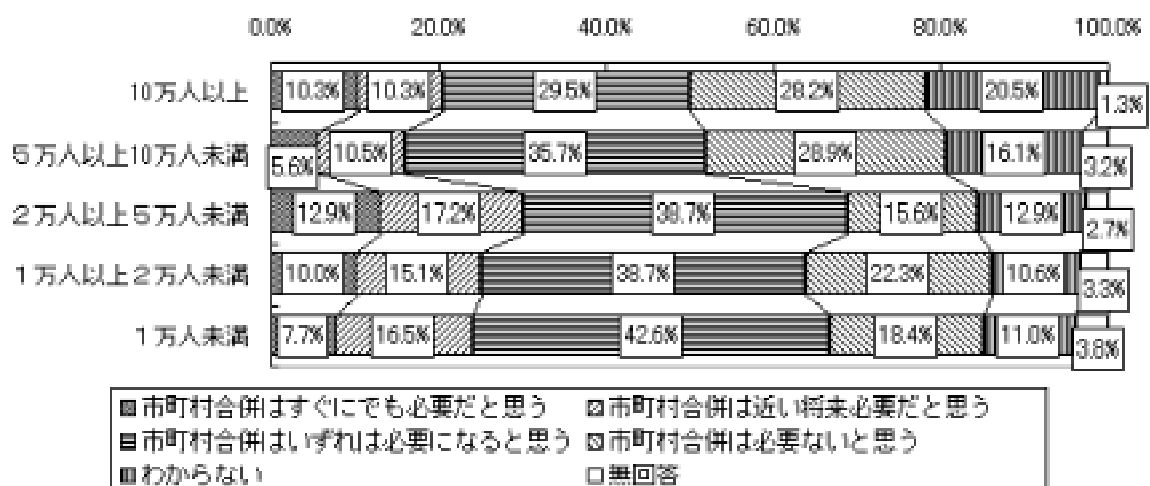
地域別にみると、「峰山・宮津地方振興局管内」「相楽地域」では必要だとする割合が他の地域に比べて大きく、逆に、「山城中部地域」では必要ないとする割合が他地域に比べてやや大きい。

問9 地域別 市町村合併の必要性



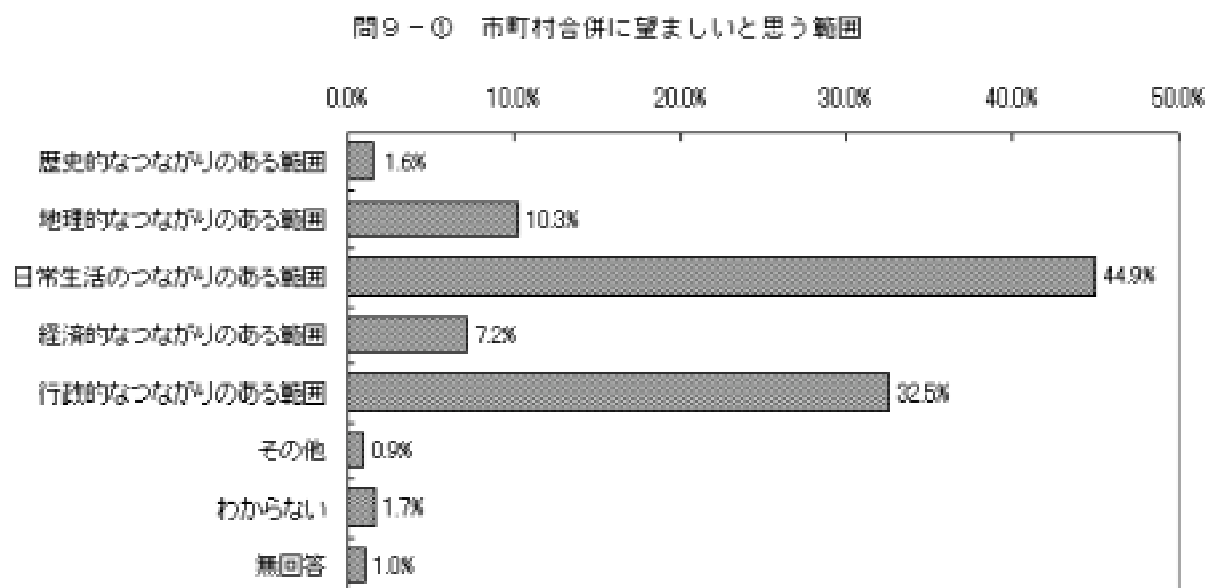
人口規模別にみると、5万人未満の市町村では必要だとする割合が60%を超えているのに対し、5万人以上の市では50%程度にとどまっており、規模の小さい市町村で市町村合併の必要性を感じている割合が大きい。

問9 人口規模別 市町村合併の必要性

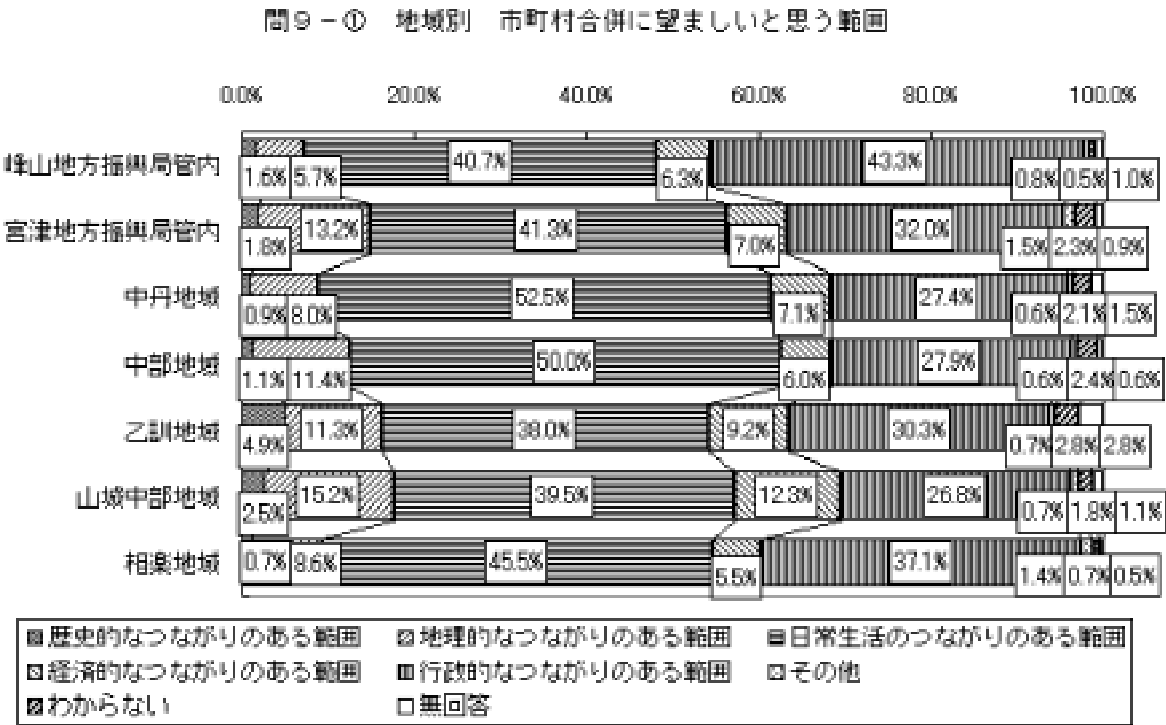


問 9－① あなたが現在お住まいの市町村が合併を進める場合、どのような範囲が望ましいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

問 9 で市町村合併は必要だと回答した方に対し、市町村合併で望ましいと思う範囲についてたずねたところ、「日常生活のつながりのある範囲」（44.9％）が最も多く、次いで「行政的なつながりのある範囲」（32.5％）となっている。



地域別にみると、「日常生活のつながりのある範囲」が「中丹地域」「中部地域」では過半数を占め、他の地域に比べて比率がやや高い。また、「行政的なつながりのある範囲」が「峰山地方振興局管内」「相楽地域」では他の地域に比べて比率がやや高い。



問 9－② あなたが現在お住まいの市町村が合併を進める場合、具体的にどの市町村と合併を検討すべきだと思いますか。回答欄にお考えをご記入ください。

同じく、問 9 で市町村合併は必要だとした方に対し、市町村合併の際の具体的な合併の組み合わせについてたずねた結果を、「これからの市町村のあり方について」で提示された「市町村の組み合わせ試案」と対比しながら、「北部地域（丹後地域・中丹地域）」「中部地域」「南部地域（南部地域・相楽地域）」の 3 つの地域ごとに集計した。なお、具体的な市町村や地域が特定できないものについては、集計から除外した。

（１）北部地域（丹後地域・中丹地域）

丹後地域では、峰山地方振興局管内の 6 町の組み合わせが最も多く、次いで宮津地方振興局管内の 1 市 4 町の組み合わせ、丹後地域全体 1 市 10 町の組み合わせと続いている。

次に中丹地域では、福知山市と天田郡および加佐郡での 1 市 3 町での合併の組み合わせが最も多い。

（２）中部地域

中部地域では、船井郡全体の組み合わせが最も多い。

（３）南部地域（南部地域・相楽地域）

南部地域では、乙訓地域 2 市 1 町の組み合わせと、相楽郡全体の組み合わせが多い。

※ 次ページ以降の表における「組み合わせ試案」とは、平成 13 年 3 月に京都府、京都府市長会および京都府町村会が公表した「これからの市町村のあり方について」で示された「市町村の組み合わせ試案」を指す。

「その他」とは、「組み合わせ試案」以外で、回答のあった組み合わせのうち、10 件以上の回答があったものを回答数の多いものから記載した。

(1) 北部地域（丹後地域・中丹地域）

		回答者の市町村																	本調査での 回答数合計	
		丹後地域										中丹地域								
		与謝郡					中郡		竹野郡			熊野郡 久美浜町				天田郡		加佐郡 大江町		
		宮津市	加悦町	岩滝町	伊根町	野田川町	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町		福知山市	舞鶴市	綾部市	三和町	夜久野町			
組み合わせ 試案の 回答件数	加悦町・野田川町		8			11														19
	宮津市・岩滝町・伊根町	2			4															6
	宮津市・加悦町・岩滝町・伊根町・ 野田川町	27	16	22	15	15														95
	網野町・丹後町・弥栄町								1	5										6
	峰山町・大宮町・網野町・丹後町・ 弥栄町・久美浜町				1	1		22	21	24	27	29	7							132
	宮津市・加悦町・岩滝町・伊根町・ 野田川町・峰山町・大宮町・網野町・ 丹後町・弥栄町・久美浜町	3	3	2	7	5	2	5	7	2	3	8								47
	福知山市・三和町・夜久野町・ 大江町													15			4	18	9	46
	福知山市・綾部市・三和町・夜久野町・ 大江町													6		5	4	6	2	23
	峰山町・大宮町・久美浜町						2	1					1							4
	舞鶴市・綾部市														2					2
舞鶴市・大江町														1					1	
その他の 回答件数	福知山市・夜久野町													1				31		32
	福知山市・大江町																		29	29
	宮津市・岩滝町	17		9																26
	福知山市・綾部市													5		19				24
	福知山市・三和町																24			24
	久美浜町・兵庫県豊岡市												22							22
	加悦町・岩滝町・伊根町・野田川町		4	6	5	5														20
	峰山町・大宮町						8	12												20
	宮津市・加悦町・岩滝町・野田川町	7	3	5		4														19
	峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町						2	1	2	3	5									13
	加悦町・岩滝町・野田川町		3	5		4														12
	福知山市・舞鶴市・綾部市															10				10

(2) 中部地域

		回答者の市町村									本調査での 回答数合計	
		中部地域										
		北桑田郡			船井郡							
		亀岡市	京北町	美山町	園部町	八木町	丹波町	日吉町	瑞穂町	和知町		
組み合わせ試案の回答件数	園部町・八木町・日吉町					3						3
	丹波町・瑞穂町・和知町							7		4	7	18
	京北町・美山町			3	11							14
	園部町・八木町・丹波町・日吉町・ 瑞穂町・和知町					11		8	6	9	11	45
	京北町・美山町・園部町・八木町・ 丹波町・日吉町・瑞穂町・和知町			3	3	1		2	1		1	11
	亀岡市・園部町・八木町・日吉町								1			1
その他の回答件数	京北町・京都市			37								37
	亀岡市・八木町		7				27					34
	園部町・八木町					2	10					12
	和知町・綾部市										11	11

(3) 南部地域 (南部地域・相楽地域)

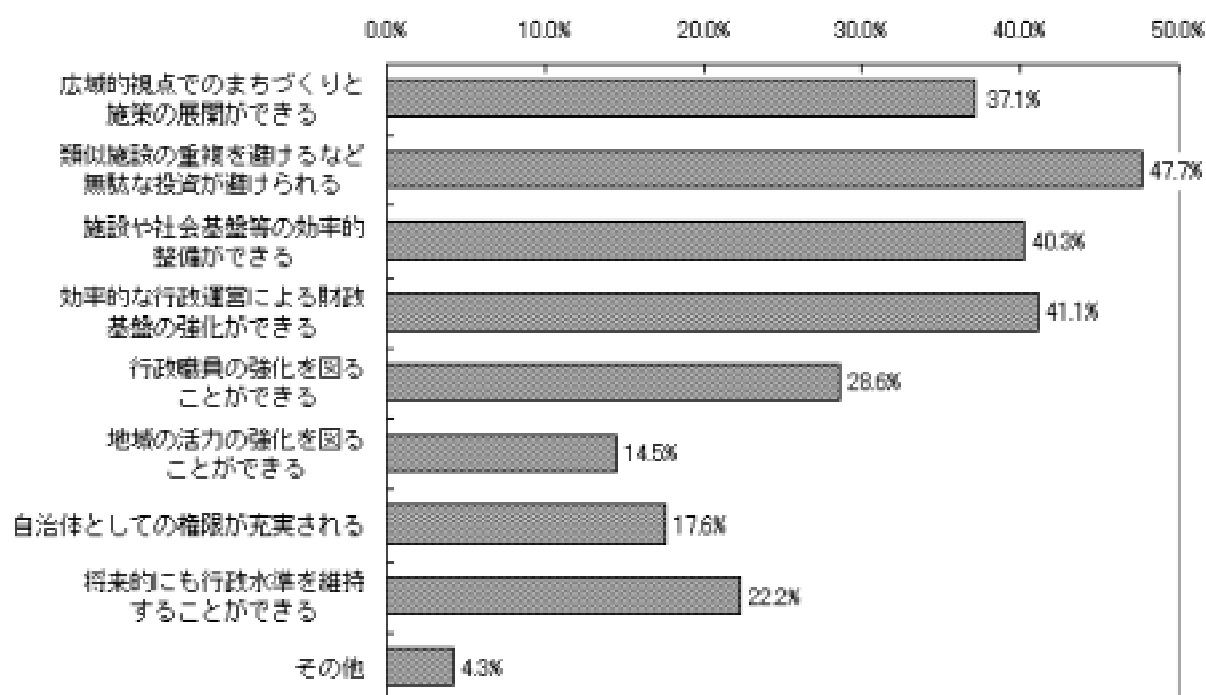
		回答者の市町村																	本調査での 回答数	
		南部地域										相楽地域								
				乙訓郡			久世郡			綴喜郡		相楽郡								
												向日市	長岡京市	大山崎町	宇治市	城陽市	久御山町	八幡市		京田辺市
組み合わせ試案の 回答件数	向日市・長岡京市・大山崎町	15	23	22																60
	宇治市・城陽市・久御山町・八幡市・京田辺市・井手町・宇治田原町											1								1
	加茂町・笠置町・和束町・南山城村													2	6	3		2		13
	山城町・木津町・精華町												17	5				7		29
	山城町・木津町・加茂町・笠置町・和束町・精華町・南山城村												5	4	8	19	11	3	11	61
	宇治市・城陽市・久御山町・井手町・宇治田原町																			0
	八幡市・京田辺市							9	1											10
	京田辺市・木津町・精華町								1					3				3		7
	城陽市・井手町・宇治田原町・山城町																			0
その他の 回答件数	木津町・精華町												17				31		48	
	長岡京市・大山崎町		4	19															23	
	宇治市・城陽市・久御山町				2	14	5												21	
	京田辺市・井手町									19									19	
	宇治市・城陽市				9	9													18	
	向日市・長岡京市	12	5																17	
	木津町・加茂町												2	15					17	
	宇治市・宇治田原町				1						15								16	
	山城町・木津町・加茂町・精華町												6	2	2		1		11	
	山城町・木津町												9	1					10	

問10 市町村合併にあたっては、さまざまな効果と懸念される点があります。

(1) あなたは、現在お住まいの市町村が合併を進めることで、期待される効果はどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべての番号に○をつけてください。

市町村合併で期待される効果についてたずねたところ、「類似施設の重複を避けるなど無駄な投資が避けられる」(47.7%)が最も多く、次いで「効率的な行政運営による財政基盤の強化ができる」(41.1%)、「施設や社会基盤等の効率的整備ができる」(40.3%)、「広域的視点でのまちづくりと施策の展開ができる」(37.1%)となっており、財政基盤の充実・強化、効率的・効果的な行財政運営に向けた取組に対する期待が高いことがわかる。

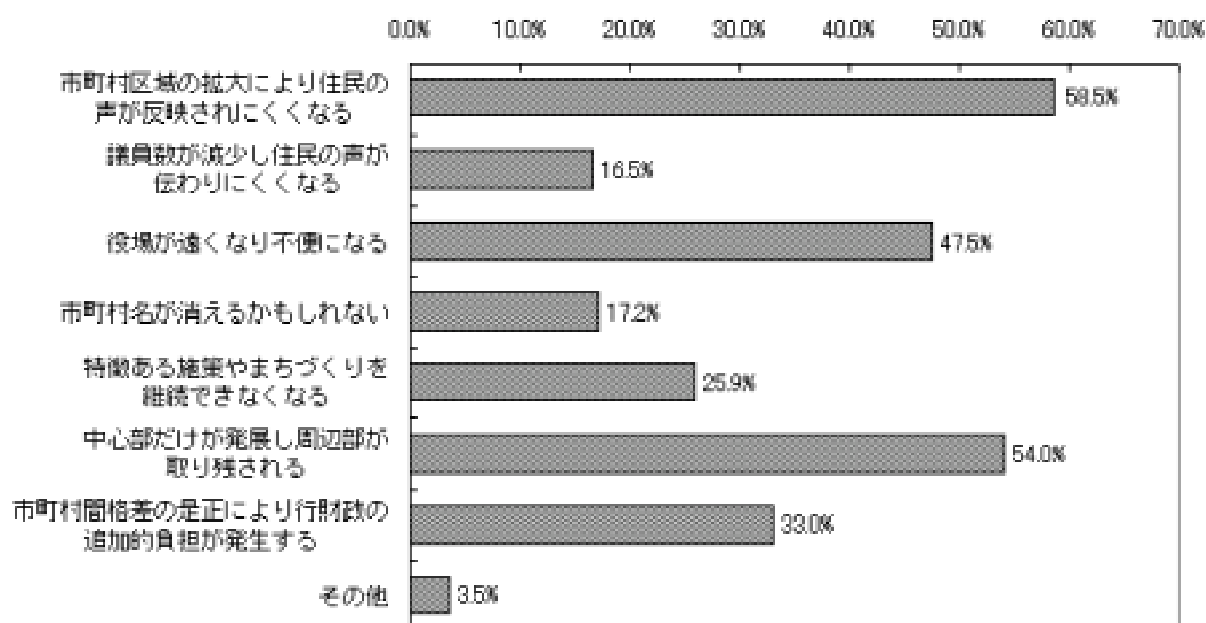
問10(1) 市町村合併で期待される効果



(2) あなたは、現在お住まいの市町村が合併を進めることで、心配に思うことはどのようなことですか。あてはまるものすべての番号に○をつけてください。

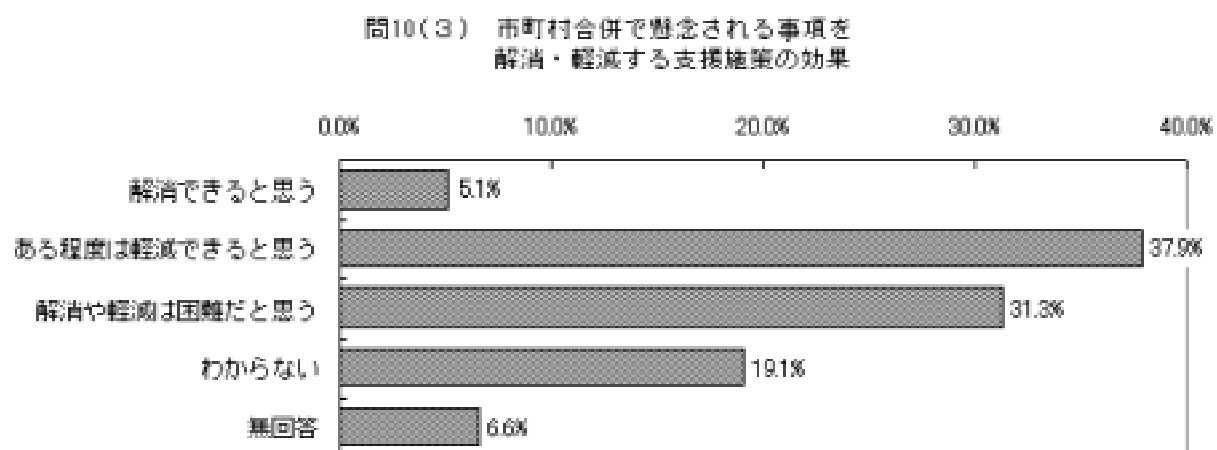
市町村合併で懸念される事項についてたずねたところ、「市町村区域の拡大により住民の声が反映されにくくなる」(58.5%)が最も多く、次いで「中心部だけが発展し周辺部が取り残される」(54.0%)、「役場が遠くなり不便になる」(47.5%)となっている。

問10(2) 市町村合併で懸念される事項



(3) 「問10(2)」のような懸念される事項に応じて、「市町村の合併の特例に関する法律」等では、旧来の市町村単位での意見が反映できるようなしくみや、新市町村の均衡ある発展が図られるような財政支援など、いくつかの支援施策が定められていますが、あなたは、これらの制度を活用すれば、懸念される事項が解消または軽減されると思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

市町村合併により懸念される事項が、合併特例法等の支援措置によって解消・軽減が可能かどうかをたずねたところ、「ある程度は解決できると思う」(37.9%)が最も多く、「解消できると思う」(5.1%)を加えた43.0%が解消もしくは軽減が可能だと考えていることがわかる。一方で、「解消や軽減は困難だと思う」が31.3%、「わからない」が19.1%となっている。



地域別にみると、「解消や軽減は困難だと思う」が「峰山・宮津地方振興局管内」「中丹地域」「中部地域」では30%を超え、他の地域よりも比率が高い。

